〇 本校の概要

て

〇本校の規模 全9学級 児童数225名(11月1日現在)

〇教育目標 友達を大切にする子ども 運動で体をきたえる子ども 本気で学ぶ子ども よく聞き話せる子ども

〇校内研究 研究主題「伝え合い、学び合う子ども~国語科の学習を通して~」

〇 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策 取組 評価 成果 評価 これまでの取組 学校関係者記入欄 取組指標 目標に対する成果指標 大項目 目標 取組内容 今後の改善策 評価 人数 コメント 教員向けアンケー 4: トで「ICT機器を活 90% 用して対話的授業 外国語教育指導員を効果的に活用し、外国 の方々とのコミュニケーション能力の育成等 ショミュニケー を図っている。 を行っている」と回 答した教員の割 以上 的と自信を身に に 生 き 校内研究に関する児童向けアン ケートで「国語の 学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人 ひとりの学習のつまずきや学習方法につい て、指導する。 授業で話し合うこ とが楽しい」と回 答した児童の割 算数・数学到達度をステップ学習チェック |シートで児童・生徒、保護者に知らせる。 児童・生徒一 人ひとりの学 ぶ意欲を高 学習指導講師等による算数・数学・英語の め、確かな学 補習を実施する。 力を定着させ ます。 向 授業改善推進プランを、授業に生かす。 子どもの1日振り 4: 返り集計で「友だ 85% 以上 ち・先生・近所の 小中一貫による教育の視点に立った生活指 導の充実により、社会のルールや学校のき まりなどを守ろうとする意識を高める。 人に元気よくあい さつをします」の 道徳教育推進教師を講師とした研修や、 国、都及び区の資料を活用した授業等を行 う等道徳指導充実のための取組を行う。 項目における児 とりの正義感 童の達成率の平 や自己肯定 感、自己有用 学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結 感などを高め果よりストレス症状のみられる児童・生徒に るとともに、自 対して組織的に対応する。 他の生命を尊 重する心を育 学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめ 成するなど、 の未然防止、早期発見等のための取組を 実施する。 未来への希 望に満ちた豊 かな心をはぐ問題行動・不登校問題等にかかわる児童・ 生徒に関するケース会議等を実施する。 くみます。 65% 学校生活アンケー 4: トで「運動すること 90% 以上 や外で遊ぶことが 「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を 通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。 楽しい」と回答した しむ心の育成 児童の割合 や、運動習慣 の定着による で、食生活の充実・改善をねらいとした「食 で、食生活の充実・改善をねらいとした「食 育」を推進する。 の定着による体力の向上な ど、生涯にわ たって健康増体育的行事、部活動、休み時間など様々な 強 大 図 ス 音 説 機会を通して運動習慣の確立を推進する。 進を図る意識 の向上をめざ します。 の 学校公開時の保 護者アンケートに よる授業評価の 授業公開日の授業評価を、その後の授業 改善に生かす。 肯定評価の割合 授業改善セミナー等の研修成果を生かし、 **児童・生徒が** 主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を 実施しOJTを充実させる。 安全・安心に学校生活を送るために、教 |各種研究発表会等の研究・研修の成果を、 自身の授業改善に生かす。 員の指導力 向上と良質な 教育環境をつくります。 校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。 教育目標・学校経営方針・学校評価等の基 による13項目の 肯定評価の割合 本情報、児童・生徒の活動情報等をホーム ページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。 の平均値 学校•家庭• 学校・地域が担う役割などを明確にし、地域には、適正で必要な学校の情報を適切に提供し、適正で必要な学校の情報を適切に提供し、適正で必要な学校の情報を適切に提供し、適正で必要な学校の情報を適切に提供し、適正を受けるよう努める。学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。 体とす。